

22. 前立腺癌に対するIMRTにおける下肢固定具の検討

研究の概要

IMRT (強度変調放射線治療)は、従来の放射線治療に比べ、腫瘍の形に合わせて放射線を照射することが可能であり、前立腺の周囲にある臓器（直腸や膀胱）への照射を限りなく少なくすることができる治療法です。このIMRTの精度を高めるには、患者さんの下肢を固定する固定具の再現性が重要になります。

研究の目的と方法

今回の研究の目的は、当院でIMRTを導入するにあたり、全治療期間を通して患者さんの位置セットアップ精度維持のため、下肢固定具の再現性の評価を行うことです。

研究方法は、2017年4月～2018年5月までの間で、下肢固定具を使用して放射線治療を行なった方の、画像誘導放射線治療の結果を解析し、固定具の再現性の評価を行います。

本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存の画像誘導放射線治療の画像のみを用いて実施する研究です。研究対象者（患者さん）の個人情報（氏名、住所、電話番号、カルテ番号など）は記載せず、個人情報は特定されません。

調査期間

研究期間：2017年4月1日～2018年5月31日

研究成果の発表

2018年11月10日～11日に沖縄で開催される、第13回九州放射線医療技術学術大会で研究発表する予定です。

研究代表者

放射線科 竹口明宏

当院における研究責任者

放射線科 竹口明宏

問い合わせ先

放射線科 竹口明宏

TEL: 096-353-6501